



— 第 623 号 —

新潟市中央区浜浦町1の1

浜浦小学校

電話 (025) 266-3181

[http://www.hamaura-](http://www.hamaura-city-niigata.ed.jp/)[city-niigata.ed.jp/](http://www.hamaura-city-niigata.ed.jp/)

運動会の価値

校長 齋藤 純 一

運動会は、四月一日の職員会議から始まります。今年の四月一日も、職員会議が開かれ、体育主任の岩城先生が提案する運動会の計画が話し合われました。

六年生は、最上級生として、下級生をリードするために、多くの仕事が任せられます。その多忙な六年生は、四月に入ってから、短距離走の記録を測ります。そして、リレー選手を決め、応援団を決めるなど、進級してすぐに、六年生としての運動会の準備が始まっていくのです。

運動会の二週間前にもなると、朝の会の前に、各学年に応援団が行き、応援練習が始まります。また、昼休みを使ってのリレー選手の練習も行われます。体育の時間に行われる各学年の種目練習や総踊りの練習も佳境に入ります。まさに、学校は、運動会一色になるのです。

運動会当日の朝、児童玄関に立っていると、子どもたちが「気合いが入っています」「早く走りたいです」と話してくれました。時間通りに登校した一年生が、いつもより早く登校して、準備をしている六年生を見て、「校長先生、よくたちが運動会に間に合いますか？」と心配そうに聞いてきました。

運動会当日は総力戦です。育成会の役員の皆さんから、受付から進行のお手伝いをしていただきました。高学年児童は放送や得点、決審から応援まで競技以外

の仕事のために、懸命に駆け回ってくれました。職員はもちろん学習支援の学生たちも様々な裏方を担ってくれました。熱気に包まれたグラウンドでは、子どもたちが懸命に走り、踊っていました。

運動会後に、一年生に何が楽しかったかを聞きました。総踊りが楽しかった理由は、「みんなで踊るのが楽しかったから」です。五十M走が楽しかった理由は、「速く走れてうれしかったから」「頑張ってたから」です。「保育園や幼稚園の運動会と違うところ」を聞いたら、「大きなグラウンドでやった」「走る距離が長くなった」そして、「六年生が走るのが速くて、格好良かった」ところでした。応援席への移動から、各種目の並び方、踊りの振りと一年生にとっては、覚えなければならぬことばかりだったはずですが、でも、初めての運動会で、彼らは確かに感じ取っています。頑張ることの楽しさ。全校で振りを合わせて踊る一体感。そして、上学年に憧れ、そこに向かうべき姿があることを感じてくれました。

今年も、とても多くの時間をかけて、本当に大勢の方々の力を借りて、創り上げる運動会となりました。自分のもてる力を思い切り出すところ、仲間と力を合わせてやり通すところが、運動会の価値であると、今年も再認識しています。